

< 令和4年度 異業種連携セミナー WEB >
宇宙天気とその社会影響

無料
先着200名

2023年1月30日(月曜日)
13:30~Webexによるオンライン開催
申込期間:令和5年1月25日(水)まで

主催挨拶 13:30~13:35

総務省関東総合通信局 局長 新井 孝雄

関東情報通信協力会 会長 熊谷 典和

(株式会社 テレビ神奈川 代表取締役社長)



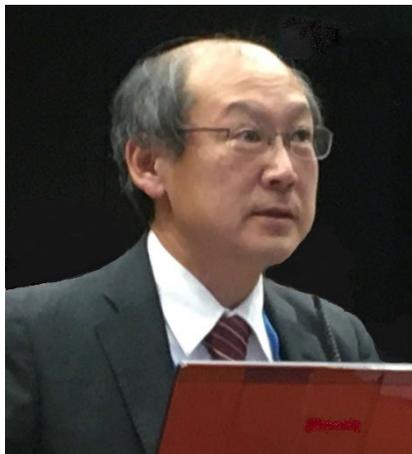
新井 孝雄



熊谷 典和

講演 13:35~14:35

■宇宙天気とその社会影響 国立研究開発法人情報通信研究機構
電磁波研究所 電磁波伝搬研究センター
研究センター長 石井 守氏



【講演概要】

「宇宙天気」とは、主に太陽を起源とする地球近傍宇宙の電磁環境を指す。条件によっては社会インフラに影響を与える諸現象を宇宙天気と呼び、その予報を行うことを宇宙天気予報と呼んでいる。我が国においては、NICTが研究開発を行っている。

歴史に記録されている最大の宇宙天気現象は1859年に起きたキャリントン・イベントと呼ばれている。現在キャリントン級のイベントが地球上で発生した場合の経済損失は、東日本大震災の経済損失を上回るという試算もある。

本講演では、宇宙天気現象の発生とその社会影響について、2022年に総務省が発表した報告書の紹介等も交えながら説明していく。

<プロフィール>

1994年郵政省通信総合研究所(現情報通信研究機構(NICT))入所。超高層大気観測用ファブリペロー干渉計を始めとしたリモートセンシング技術の開発に従事。その後アラスカ大学フェアバンクス校、内閣府総合科学技術会議事務局を経て、宇宙天気予報に関する研究開発に従事。現在NICT電磁波研究所電磁波伝搬研究センター長。博士(理学)。総務省情報通信審議会電波伝搬委員会主査。地球電磁気・地球惑星圏学会評議員、国際宇宙環境サービス(ISES)副議長、UN/COPUOS 科技小委員会宇宙天気検討チーム、WMO/ET-SWx、ITU-R SG3およびSG7、URSI bureau、SCOSTEP bureau、WDS-SC他。

※参加申し込み方法等(以下の「URL」又は「QRコード」からお申込みください)

<申込サイト> 関東総合通信局ホームページ

https://www.soumu.go.jp/form/shingi_kentou/application.php?id=000161709

お問合せ先: 総務省関東総合通信局 企画広報室 TEL:03-6238-1631

E-mail:kanto-event@soumu.go.jp

主催:  総務省関東総合通信局 関東情報通信協力会

